



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社 梅の花 上場取引所 東
 コード番号 7604 URL http://www.umenohana.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 梅野 重俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役管理本部長兼 (氏名) 上村 正幸 TEL 0942-38-3440
 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	8,462	4.3	275	35.1	250	29.3	148	31.8
28年9月期第1四半期	8,113	3.4	203	△38.0	193	△32.6	112	△27.4

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 141百万円 (26.1%) 28年9月期第1四半期 111百万円 (△32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	21.70	—
28年9月期第1四半期	15.30	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	28,060	5,831	20.8	850.41
28年9月期	26,818	5,724	21.3	834.75

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 5,831百万円 28年9月期 5,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年9月期	—				
29年9月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,710	7.2	235	△22.6	123	△59.3	38	△78.1	5.63
通期	32,309	9.9	391	142.1	188	209.5	17	△81.8	2.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	7,489,200株	28年9月期	7,489,200株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	631,677株	28年9月期	631,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	6,857,523株	28年9月期1Q	7,377,592株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成29年2月10日付にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があると言われる中で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは10月に株式会社丸平商店・ヤマグチ水産株式会社・株式会社グッドマーケットレーディング(以下「丸平商店グループ」)の3社の完全子会社化、11月に株式会社フジオフードシステムとの資本業務提携、12月に「湯葉と豆腐の店 梅の花」の小型店舗を成城学園前(東京都世田谷区)に出店する等企業規模の拡大及び企業基盤の強化に取り組みました。また、自然災害等に対するリスクの分散及び中長期的な出店並びに物流の効率化を見据えた新工場(京都府綴喜郡井手町)の建設計画につきましても進めております。

出店につきましては、外食事業は出店先の立地条件、賃貸借条件及び店舗の採算性等を勘案した上で都心部(中心市街地)への小型店舗、市街地近郊の戸建店舗の展開、テイクアウト事業は百貨店、駅ビル及びショッピングセンター内への出店を計画しております。

店舗の出店及び退店につきましては、外食事業2店舗出店及び1店舗退店、テイクアウト事業1店舗出店により当第1四半期連結会計期間末の店舗数は272店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、丸平商店グループを完全子会社化したことにより84億62百万円(前年同期比104.3%)と増収となり、営業利益は2億75百万円(前年同期比135.1%)、経常利益は2億50百万円(前年同期比129.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円(前年同期比131.8%)と増益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(外食事業)

外食事業におきましては、新ポイントカードを導入し、お客様がポイントを利用しやすい内容に変更するとともに、来店頻度等により顧客を分類しそれぞれに合わせた特典の提供等、来店頻度の向上に取り組みました。また、専門スタッフの店舗訪問指導による接客サービスや調理技術の向上等に取り組んでおります。新しい顧客層に向けた取り組みとしましては、スマートフォンアプリのLINEを利用したクーポン発行やWeb予約システムの導入等を順次進めております。

以上の結果、外食事業の売上高は46億93百万円(前年同期比96.2%)、セグメント利益3億33百万円(前年同期比113.0%)となりました。

店舗数につきましては、梅の花は2店舗出店し74店舗、チャイナ梅の花3店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は1店舗退店し6店舗、外食事業の全店舗数は86店舗となりました。

(テイクアウト事業)

テイクアウト事業におきましては、教育担当者の店舗訪問指導により接客力の向上を図るとともに、定期的に集合研修を行い従業員のスキルアップを行うことで顧客満足度の向上に注力しております。また、おせち、クリスマス及びハロウィン等季節のイベントに合わせた企画や他社とのコラボ商品により、売上の底上げを行いました。

以上の結果、テイクアウト事業の売上高は32億96百万円(前年同期比101.9%)、セグメント利益2億6百万円(前年同期比120.5%)となりました。

店舗数につきましては、古市庵テイクアウト店は1店舗出店し134店舗、梅の花テイクアウト店は46店舗、その他店舗は6店舗、テイクアウト事業の全店舗数は186店舗となりました。

(その他)

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第1四半期連結会計期間において株式の取得により完全子会社化した丸平商店グループ3社の営む水産加工品の製造販売等であります。その他の区分の売上高は4億72百万円、セグメント利益2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ12億41百万円増加し、280億60百万円となりました。これは主に、季節要因により売掛金が6億20百万円増加したことによるものであります。また、丸平商店グループの3社を完全子会社化したことにより、のれんが3億36百万円、売掛金が2億48百万円、有形固定資産が1億99百万円増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ11億34百万円増加し、222億28百万円となりました。これは主に、季節要因により買掛金及び未払金が8億99百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億7百万円増加し、58億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億15百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間より、従来の株式会社梅の花Service(株式会社梅の花サービス西日本に商号変更)を分割会社とする新設分割により、株式会社梅の花サービス東日本を設立し、新たに連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、株式取得により株式会社丸平商店、ヤマグチ水産株式会社及び株式会社グッドマーケットレーディングを連結の範囲に含めております。

さらに、当第1四半期連結会計期間より、持分法を適用しない非連結子会社であったUMENOHANA(THAILAND) CO., LTD.については、重要性の観点から、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,726,651	5,644,217
売掛金	1,367,101	2,235,728
商品及び製品	114,079	617,734
原材料及び貯蔵品	199,999	281,239
繰延税金資産	155,951	174,603
その他	503,533	711,112
貸倒引当金	△1,558	△1,558
流動資産合計	10,065,757	9,663,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,841,468	8,041,056
機械装置及び運搬具(純額)	266,725	321,988
土地	5,280,938	5,291,308
建設仮勘定	12,653	3,672
その他(純額)	619,471	703,212
有形固定資産合計	14,021,257	14,361,238
無形固定資産		
のれん	112,834	420,858
その他	142,233	153,668
無形固定資産合計	255,067	574,526
投資その他の資産		
投資有価証券	89,827	1,034,860
長期貸付金	201,893	39,076
退職給付に係る資産	210,061	221,031
繰延税金資産	326,345	277,646
敷金及び保証金	1,715,021	1,772,471
その他	117,413	120,706
貸倒引当金	△183,661	△4,059
投資その他の資産合計	2,476,900	3,461,733
固定資産合計	16,753,225	18,397,498
資産合計	26,818,982	28,060,575

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	593,556	1,035,310
短期借入金	4,300,000	4,800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,966,374	1,907,002
未払金	1,118,733	1,576,400
未払法人税等	76,732	47,761
賞与引当金	152,100	118,930
ポイント引当金	193,293	193,630
その他	599,952	897,283
流動負債合計	9,000,741	10,576,318
固定負債		
長期借入金	11,367,656	10,916,188
資産除去債務	691,273	700,122
その他	34,964	36,271
固定負債合計	12,093,894	11,652,582
負債合計	21,094,636	22,228,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,123,177	4,123,177
資本剰余金	3,459,117	3,459,117
利益剰余金	△418,033	△302,935
自己株式	△1,436,639	△1,436,639
株主資本合計	5,727,622	5,842,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,562	△3,257
為替換算調整勘定	△4,725	△4,703
退職給付に係る調整累計額	△4,112	△3,084
その他の包括利益累計額合計	△3,276	△11,045
純資産合計	5,724,346	5,831,674
負債純資産合計	26,818,982	28,060,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,113,983	8,462,604
売上原価	2,492,159	2,840,565
売上総利益	5,621,824	5,622,038
販売費及び一般管理費	5,417,868	5,346,575
営業利益	203,956	275,463
営業外収益		
受取利息	1,062	989
受取配当金	478	669
受取手数料	1,446	4,180
受取保険料	8,909	-
雑収入	6,735	8,810
営業外収益合計	18,631	14,651
営業外費用		
支払利息	14,719	19,195
持分法による投資損失	-	3,236
株式関連費	11,553	11,451
雑損失	2,913	6,073
営業外費用合計	29,186	39,956
経常利益	193,400	250,157
特別損失		
固定資産除売却損	7,295	6,164
特別損失合計	7,295	6,164
税金等調整前四半期純利益	186,104	243,993
法人税、住民税及び事業税	27,008	43,984
法人税等調整額	46,223	51,203
法人税等合計	73,232	95,188
四半期純利益	112,872	148,805
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,872	148,805

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	112,872	148,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	512	△8,819
退職給付に係る調整額	△1,560	1,028
持分法適用会社に対する持分相当額	-	21
その他の包括利益合計	△1,047	△7,769
四半期包括利益	111,824	141,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,824	141,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	外食事業	テイクア ウト事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,877,744	3,236,239	8,113,983	—	—	8,113,983
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,786	14,256	18,043	—	△18,043	—
計	4,881,530	3,250,495	8,132,026	—	△18,043	8,113,983
セグメント利益	294,951	171,386	466,337	—	△262,381	203,956

(注)1 セグメント利益の調整額△262,381千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	外食事業	テイクア ウト事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,693,664	3,296,875	7,990,539	472,064	—	8,462,604
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,893	13,565	15,459	—	△15,459	—
計	4,695,558	3,310,440	8,005,998	472,064	△15,459	8,462,604
セグメント利益	333,326	206,480	539,807	2,740	△267,084	275,463

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第1四半期連結会計期間において、株式取得により子会社化した株式会社丸平商店、ヤマグチ水産株式会社及び株式会社グッドマーケットレーディングの営む水産加工品の製造販売事業等であります。

2 セグメント利益の調整額△267,084千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、株式会社丸平商店、ヤマグチ水産株式会社及び株式会社グッドマーケットレーディングの株式を取得し、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては344,853千円であります。